

# 英語

## 同志社大学 全学部日程 [文系] (2 / 5 実施)

### <全体分析>

試験時間

100分

#### 解答形式

選択式+記述式

#### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

#### 出題の特徴や昨年との変更点

読解総合問題重視の出題。読解問題以外では長めの会話問題と英作文が出題されている。概ね昨年度を踏襲した形と言える。

#### その他トピックス

特になし

### <大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[I]	読解総合 (1009 語)	「言葉の概念が生む認識の違いによる誤解」	空所補充, パラフレーズ, 空所補充型整序, 内容一致, 下線部和訳が出題されている。A の空所補充は文脈で考えるのが基本だが, イディオムの知識も要求されている。B は短めのパラフレーズ, C は長めのパラフレーズで, 下線部の解釈に加え, 文脈も考慮して答える。D の空所補充型整序は, 品詞・文構造と文脈に注意しつつ, 文法・語法の知識を駆使して解く。E の内容一致問題は, 筆者の立場・主張をつかむことはもちろん, 一部の選択肢において細部の正確な読み取りも要求されている。F の下線部和訳は, the degree to which S V をどう訳出するかがポイント。	やや難
[II]	読解総合 (797 語)	「休息の効用とその具体的方策」	大問 I と同じ空所補充, パラフレーズ, 空所補充型整序, 内容一致が出題されている。大問 I と留意すべき点は同じ。語句整序では, enough time to do の形と come up with A というイディオムに気づけるかどうかポイント。内容一致では判断に迷う選択肢は見られない。	標準
[III]	その他 英作文 (530 語)	会話問題	A の空所補充は 8 つの空所に対して一括した 10 の選択肢が与えられている。センテンスが丸ごと抜かれた形式で, 会話の流れを把握する力が問われている。B の英作文では, 会話文中の表現もヒントにするとよい。	やや難

注: 区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は 5 段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

### <学習対策>

読解総合問題の対策としては、パラフレーズ問題には難易度の高い単語も出題されることがあるため、まず語いの強化が不可欠である。さらに、構文をとりながら緻密に読む精読の訓練と、前後の論理関係の標識となるディスコースマーカーなどに着目しながら文脈を意識し論理的に読む訓練を並行して積んでいくこと。ある程度の速さで長い英文を正確に読む練習もしよう。文法・語法については単独での出題はないものの、読解や英作文問題の中でその力が求められるので、なるべく早い段階で一通りの知識と考え方を身につけておきたい。会話問題は、文脈が重視されているが、年度・日程によっては口語表現が多く出題されることもあるので基本的なものは覚えておく必要がある。